

【別紙 2】

令和元年度文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」報告書

学校等名 雲仙市立愛野中学校

担当者名 鬼塚 佐代子

電話 0957-36-0050

F A X 0957-36-2602

実施日 令和元年11月 20日(水) 13:00 ~ 16:00

場 所 雲仙市立愛野中学校 体育館

講座名 講演会「中学校におけるがん教育について」

講 師 岡田 雅彦 氏 (医師)

近 隣 校 へ の
案内

案内先： 雲仙市立愛野小学校、雲仙市立千々石第一小学校、雲仙市立千々石第二小学校、雲仙市立千々石中学校

計 4 校

参加者

全学年
(181)人

学校職員
(17)人

保護者
(2)人

他校職員等
(2)人

その他
()

(計 202)人

テーマと
内 容

テーマ「中学校におけるがん教育について」
 ・がんの現状、がんの原因、がんの治療法、がん検診の必要性
 ・がんの予防のために気をつける生活習慣
 ・がん患者と接する上で大切なこと
 ・がんになった人のことを知り「ちがい」について考える

<当日の様子>



(講師による講話の様子)



(講話を聴いている生徒の様子)

<講師からの指導や助言・成果>

- ・がんの原因(細菌・ウイルス、生活習慣、遺伝的原因)がわからない小児がんもある。
- ・がんは大きくなるまで自覚症状が出ないので、がん検診を受ける必要がある。(がんは、早期発見すると95%は治る。今の大人は検診を2人に1人も受けていない。)
- ・今、自分にできることを心がけることが大切。禁煙(本人、周りの人)節酒(量、回数)適度な運動、適正体重の維持、バランスのよい食事、など。
- ・病気や体の不自由な人との共存。(ふつう、めいわく、できること、やさしさ)
- ・家族や友だち、みんなが普通に暮らせる社会になってほしい。(誰もが助け合える社会)

○生徒の感想より

- ・がんは誰もがなりうる病気。・がんについて早期発見すると治る確率が高い。・タバコを吸わない。・お酒を飲みすぎない。がん検診を受ける。・自分も家族もがんにならないようにする

ために生活習慣を見直す。・運動をする。・がんになった人への配慮。・みんなが平等で暮らしやすい生活を送るために「やさしさ」を持って接したい。・人の心や気持ちがわかるようになりたい。・体の不自由な方が堂々と迷惑をかけたら、それに勇気を出して応えられるような大人になりたい。

＜今後の取組及び課題＞

- ・がん教育講演会の様子、生徒の感想などの掲示物を作り保健室前に掲示する。
- ・がん教育講演会だよりを発行し、講演会の様子を家庭に伝える。
- ・保健室に「がんコーナー」を設けパンフレットや本を置き生徒が自主的に学べる場を作る。
- ・生徒たちのその後の様子について観察を行う。(生活習慣や運動などについて)
- ・がんについての研修が今後も必要だと思う。数年に一度は専門家を招へいして、がんについて正しい知識を習得したい。

◎行が足りない場合は、適宜行を追加していただいて構いません。提出は、データをお願いします。

※報告書は、県学校保健会報や県HPに掲載予定です。画像は、児童・生徒個人が特定できないように配慮してください。